

No.	5	分類	3-(2)-イ	資料名	お手玉	学年	2年	領域	道徳	4-(2)
-----	---	----	---------	-----	-----	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 高齢者との交流を通して、相手の思いや願いを感じとり、互いに支え合っていこうとする意欲や態度を身につける。

2 趣旨

- 現代は核家族化が進み、日常的に高齢者と接する機会や高齢者の思いや願いを身近に感じる機会が少なくなっている。
- 本資料は、「明子」が特別養護老人ホーム「友愛園」での触れ合いを通して、高齢者への理解を深めていく姿を描いている。お互いの思いや願いを理解し合うことが大切であることを考えさせる資料である。
- 「友愛園」訪問を楽しみにしていた「明子」が、行きたくなくなった気持ちの変化を捉えさせる。職員や祖父の言葉から、自分の言動を見つめ直した「明子」の姿を通して、高齢者の願いや不安について思いを巡らせながら、共に豊かに暮らせるための方法について考えさせたい。

3 配慮事項

- 老いることをマイナスのイメージで捉えないように留意する。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 1の場面について考える。</p> <p>なぜ、「明子」は訪問日をはずむような気持ちでむかえるようになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな拍手をもらった時に人の役に立っていると思えた。 ・いろいろな話が聞けて役に立ったし、自分の相談にのってくれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喜んでもらえていることを自分の喜びだと感じている明子の充実感に共感させる。 ・明子もまた高齢者からいろいろなことを教わり、元気をもらっていることに気づかせる。
<p>2 2の場面について話し合う。</p> <p>「私といっしょに行きましょう。」という明子の言葉をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無責任な発言はよくない。 ・喜ばせた分、悲しみも大きくなるから言わない方がよい。 ・希望をもたせることは高齢者を元気にするから、実現が難しくても言うことはいいことだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴代さんを一生懸命励まそうとした明子のやさしさを理解させたい。 ・相手を喜ばせようとした言葉も、時には相手を悲しませることに気づかせる。 ・高齢者に楽しみや希望をもってもらうことは大切なことであり、明子の言葉の是非について多様な意見を出させたい。
<p>3 3の場面について話し合う。</p> <p>なぜ、「明子」は次第に「友愛園」へ行くのが重荷になってきたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょに私の故郷に行ってね。」と、いつも言われる。 ・笑顔で話しかけられるのがつらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明子の気持ちの変化について考えさせる。 ・明子が相手を思うがゆえに重荷になってきたことを考えさせ、明子のやさしさにもふれたい。
<p>4 4の場面について話し合う。</p> <p>祖父の話聞きながら、「明子」は何を思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴代さん自身も行けないことは分かっているながら、自分と楽しい会話をしようと思っただけではないかな。 ・ボランティアは、無理をしない範囲で継続して行うことが大切だ。 ・高齢者はいろいろな知恵や技術を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴代さんの気持ちを想像させることで、相手の気持ちを理解することの大切さに気づかせたい。 ・支援をする側の苦勞を理解し、「忘れることなく」継続して支援することの大切さを理解させたい。 ・高齢者の力を社会に役立ててもらおうという視点をもつことの必要性を認識させる。